

盛岡市ヘルステック産業振興戦略

戦略期間：令和3（2021）年度
（10年間）～令和12（2030）年度

- 盛岡市工業振興ビジョン
 - 岩手県と盛岡市との産業振興の連携に関する協定
 - 岩手県と戦略を共有しながら、岩手県医療機器等関連産業イノベーション創出戦略と連携し、戦略を強力に推進
- 具体的施策・取組を推進する上での指針
- 盛岡市のヘルステック産業の集積
 - 県民計画、北上川バレーPへの貢献

目標 持続的な業種横断型の産学官連携により、事業化から世界展開までを一貫して実施し地域経済を牽引するとともに、地域の健康と福祉を支え、高度人材と企業を惹きつける魅力的なヘルステック・クラスターを形成する。

- 戦略**
- 1 ヘルステック・クラスター形成と構成企業の成長支援**
クラスター構成企業が、国内外の研究機関や企業の研究開発プロジェクトを呼び込みながら、強力な産学官連携のもと革新的な新事業創出・高度技術開発に取り組み、盛岡発の新製品を世界に向けて持続的に売り込む、高収益なビジネス展開を図る。
 - 2 ヘルステック関連企業と連携した地域住民参画プロジェクト支援**
ヘルステック関連企業と連携した地域住民参画プロジェクトを実施することにより、企業業績向上と住民の健康寿命延伸を同時に実現する事業を多く生み出すとともに、他地域の企業を誘引する。
 - 3 人材の育成・確保・定着**
地域を巻き込みながら世界展開を目指すヘルステック関連企業が、地域での認知度を高めるとともに、地元人材の育成・定着に加え、高度人材を全国から呼び込む。

戦略目標

- ヘルステック産業を牽引する中核企業数（累計） 【現状】 2社（R2（2020）年度）
【目標】 5社（R7（2025）年度）⇒ 9社（R12（2030）年度）
- 先進的な産学官連携研究開発や新事業創出が活発に行われ、東北ライフサイエンス・インストルメンツ・クラスター（TOLIC）等のヘルステック・クラスターが成長
- TOLIC等クラスター構成企業による高収益な事業が展開、国内外との取引拡大
- TOLIC等クラスター構成企業の業容拡大により研究開発部門や生産拠点の増設や新規設置、雇用拡大
- IT産業・農林水産業など異業種やILC誘致と連携した新規参入企業が創出
- ヘルステック関連の新規創業、ベンチャー企業が創出
- 国内外のヘルステック関連企業や取引企業が盛岡地域に進出
- ヘルステック関連の研究機関や企業の研究開発部門が盛岡地域に設置
- 新たなヘルステック・クラスターが形成、新たな集積拠点を関係機関が連携して設置

- 住民参画事業数（累計） 【現状】 1件（R2（2020）年度）
【目標】 3件（R7（2025）年度）⇒ 5件（R12（2030）年度）
- 盛岡ヘルスケア産業協議会の取組を通じて、住民や医療機関が参画した実証実験の実施事例が創出
- TOLIC等のヘルステック・クラスター構成企業による企業の業績向上と住民の健康増進を同時に実現する先進的な地域ヘルスケア事業が創出
- 住民参画事業や行政と民間のデータ連携などの仕組みが確立し、盛岡市がヘルスケアや医療のモデル地域になり、ヘルステック関連企業の新規立地や業容拡大、研究機関の立地が促進
- ヘルステック関連企業の地域での認知度向上

- ヘルステック・クラスター構成企業への新規就職者数（累計）
【現状】 4人（R2（2020）年度）
【目標】 100人（R7（2025）年度）⇒ 300人（R12（2030）年）
- 子供の頃から、ヘルステック関連企業を知る機会が創出
- 他地域からも子供が集まり、活発な体験・学習を実施
- 小中学生から大学生等までの各段階に応じた内容で人材育成
- 盛岡市内の高度人材が、ヘルステック関連企業に魅力を感じ安定的に定着
- 盛岡市外の高度人材が、市内のヘルステック関連企業に魅力を感じ、U・Iターンが促進

企業・大学・国・岩手県・市町村・産業支援機関・金融機関・医療機関・住民等との連携

- 推進施策**
- 研究開発から製品化、海外展開を含めた事業化を支援
 - ・ 研究開発～製品化～海外展開を含めた事業化までの個別またはパッケージ支援
 - ・ 異業種やILC誘致との連携による研究開発や製品化・事業化の支援
 - イノベーションを創出
 - ・ AI・IoTプラットフォームとの連携（情報交換、プロジェクト創出）
 - ・ 企業間・産学官連携プロジェクトに係るスタートアップ支援
 - ・ 国内外のクラスターや研究機関と連携した研究開発プロジェクト誘致
 - ヘルステック関連企業を呼び込む拠点を創出
 - ・ 道明地区新産業等用地への集積・産学官交流拠点化に向けた検討とこれに基づく措置
 - ・ TOLIC等のヘルステック・クラスター中核企業と連携した誘致活動、プロジェクト参画企業への立地優遇制度創設の検討とこれに基づく措置
 - ベンチャー創業・育成を促進
 - ・ ヘルステック関連企業からのスピノフ創業支援
- 地域住民の健康増進をもたらす事業を創出
 - ・ 企業等が持つ技術を地域住民の健康増進に活用する事業の推進（実証実験フィールド提供、行政と民間のデータ連携など）
 - ・ 盛岡ヘルスケア産業協議会との連携促進（住民参画事業のコーディネート、周知促進、医療機関との連携等）
 - ヘルステック・クラスターと地域との連携促進
 - ・ ヘルステック関連企業が参加した一般市民向けサイエンス講座、子供向け体験会、社会見学等の開催
 - ・ メディア等の活用による一般市民に対するTOLIC等のヘルステック・クラスター活動の周知
- 高度ものづくり人材を育成
 - ・ TOLIC等と連携したクラウドファンディング活用等による高校生・大学生の人材育成の仕組み作り
 - ・ ヘルステック・イノベーション・ハブ（HIH）を拠点にした学生向け長期インターンシップによる人材の育成
 - 人材の呼び込みを促進
 - ・ 専門性の高い人材の中途採用スキームの検討とこれに基づく措置
 - ・ 岩手ゆかりの人材等のU・Iターン促進
 - 児童生徒・学生にヘルステック関連企業を周知
 - ・ 子供が魅力を感じる体験・学習の機会の創出

- 現状・成果・課題**
- 【現状】 ○ クラスター形成、海外への販路拡大を促す施策
 - ・ クラスター活動支援業務委託、医療福祉機器等販路開拓支援事業補助金
 - ・ 製造業及び情報サービス業市場開拓等事業補助金
 - イノベーションを創出する施策
 - ・ 産学共同研究等支援事業補助金
 - 【成果】 ○ TOLIC構成企業の売上高、大学との共同研究、会員企業が増加
 - 【課題】 ○ 自社製品を事業化できる企業が少なく、低付加価値な産業構造
 - ヘルステック関連企業が少なく、経済効果が低い
 - 今後、集積が進んだ場合、活動や研究開発拠点の拡大が必要
- 【現状】 ○ 地域住民の健康福祉増進にイノベーションをもたらす施策
 - ・ 盛岡ヘルスケア産業協議会との連携
 - 【成果】 ○ TOLIC中核企業と盛岡地域のドラッグストアが実施する健康チェック事業が拡大
 - 【課題】 ○ ヘルステック関連企業における地域住民を巻き込んだ健康増進事業の実施が少ない
 - 行政による健康増進施策等とヘルステック関連企業の連携不足
 - ヘルステック関連企業と医療機関との連携不足
- 【現状】 ○ クラスターと構成企業を周知する施策
 - ・ クラスター周知型インターンシップ
 - ・ クラスター構成企業と学生との交流会
 - ・ セミナーへの高校生招聘
 - 【成果】 ○ TOLIC構成企業に地元高等教育機関の学生が就職
 - 【課題】 ○ 人材の流出
 - 高度ものづくり人材の育成・確保・定着
 - 子供や若者の地元企業に対する認知不足

盛岡市の強み ☆活発な産学官連携 ☆研究開発環境の充実 ☆新産業等用地の整備 ☆医療機関との連携体制が構築 ☆豊富な理工系人材

- 背景**
- 産業** ○ ヘルスケアデバイスの普及拡大、デジタル化
 - ヘルステック産業の成長
 - 医療機器等に先進的な技術を活用
 - 他業種の参入、ヘルスケアビジネスの創出・需要拡大
 - 国** ○ 平成29年7月 地域経済循環分析事例
 - 盛岡市に医療施設の集積を活かした医療産業クラスター形成の可能性
 - 令和3年1月 バイオ戦略2020
 - 令和12年までに92兆円市場を目標
 - 県** ○ 平成31年3月 いわて県民計画 医療機器等関連産業集積、北上川バレープロジェクト、ILCプロジェクトなどの推進
 - 令和2年6月 岩手県と盛岡市との産業振興の連携に関する協定
 - ヘルステック分野等で連携
 - 令和3年3月 岩手県医療機器等関連産業イノベーション創出戦略
 - 市内** ○ 平成20年8月 いわて医療機器事業化研究会設立
 - 平成26年8月 TOLIC設立
 - 平成30年1月 盛岡ヘルスケア産業協議会設立
 - 令和2年4月 HIH開所
 - 令和3年2月 道明地区新産業等用地第一事業区竣工